

TCFD情報開示支援 (気候変動リスク分析)

効果的なTCFD情報開示をサポートします！

Q. TCFDとは何ですか？

- ✓ TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）とは、企業等が気候変動に関するリスク・機会、取り組みの情報開示を行うことを推奨する国際的な組織です。現在はIFRS（国際会計基準）に統合されています。

Q. なぜTCFD情報開示が必要なのですか？

- ✓ 気候変動による自然災害の増加やカーボンニュートラルの推進など、気候変動への対応は世界的な課題となっており、投資家をはじめとするステークホルダーの関心が高まっています。
- ✓ 有価証券報告書において、気候変動に関する情報開示が上場企業に対して実質義務化されています。
- ✓ ISSB（グローバル基準）やSSBJ（日本基準）といったサステナビリティ情報開示基準においても、気候変動が取り上げられています。

Q. 気候変動に関するリスク・機会をどのように分析するのですか？

- ✓ バリューチェーンの整理を行い、気候変動が企業にもたらす移行リスク・機会および物理リスク・機会を洗い出し、将来シナリオに基づいて定性的・定量的に評価します。

当社を選ぶメリット



最新動向の反映

国内外の最新ガイドラインや投資家の評価動向を踏まえ、効果的なTCFD開示をサポートします。



詳細なリスク分析

保険会社グループとして培ったリスクマネジメントの知見を活かした、精緻なリスク分析が可能です。



実行支援型サポート

分析や開示案の作成等、実務面をコンサルタントが担うことで、ご負担を軽減しつつ効果的な情報開示を実現します。

「TCFD情報開示支援（気候変動リスク分析）」の概要

TCFDフレームワークに基づき、リスク・機会の分析から情報開示支援まで、一括支援を行います。

支援ステップ

1

バリューチェーンの整理

自社のバリューチェーンを整理し、リスクや機会の影響範囲を明確化します。

2

シナリオの検討・データ整理

シナリオ分析に必要なシナリオやデータを検討・整理します。

3

リスク・機会の分析

移行リスク・機会および物理リスク・機会を分析します。影響の大きいリスク・機会は詳細に分析することも可能です。

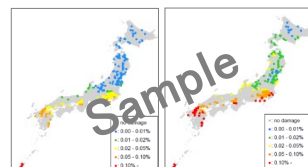
4

開示案作成

TCFDの4項目（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）に基づき、開示の素案を作成します。

独自開発モデルを使ったインパクトの算出

- リスク・機会の詳細な分析として、独自開発モデルを使用してインパクトを算出します。将来の気候変動を予測した「アンサンブル気候予測データベース」より台風・豪雨の変化傾向を抽出し、自社開発モデルに反映させています。



オプション

将来シナリオワークショップの実施

将来のシナリオ（未来年表）を作成することで、自社におけるリスク・機会を洗い出し、取るべき対策について検討します。

研修・勉強会の実施

気候変動への対応が求められる背景や社会動向について解説し、理解促進につなげる従業員向け・経営層向け研修/勉強会の実施も可能です。

関連メニューのご紹介

TNFD情報開示支援（自然関連リスク分析）

効果的なTNFD開示に向けて、LEAPアプローチに即した分析、開示案の作成を行います。TCFD開示と統合した開示案の作成も可能です。

CDP回答支援コンサルティング

CDP質問書の回答内容のブラッシュアップやスコア改善に向けての評価分析を行います。CDP気候変動ではTCFDでの対応結果を活用できる設問も多くあるため、TCFD支援と連携して効果的な回答に向けたご支援が可能です。

スケジュール

標準的には6か月程度で対応します。
開示時期等、貴社のご要望に応じた調整が可能です。

実績

製造業を中心に、複数の対応実績があります。

詳細資料・ご相談はこちら

SOMPOリスクマネジメント

サステナビリティコンサルティング部

住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル

公式ホームページ：<http://www.sompo-rc.co.jp>

SOMPOグループの一員です

お問い合わせ先（サービス紹介ページ）

<https://www.sompo-rc.co.jp/services/view/258>

- ページ下部にお問い合わせフォームがございます
- サービス内容や支援事例などをご覧いただけます
- 右のQRコードからもアクセス可能です

